

製品名: RUNX3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81857**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:250,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.4kDa

抗原情報

遺伝子名	RUNX3
別名	AML2; CBFA3; PEBP2aC
遺伝子 ID	864.0
SwissProt ID	Q13761
免疫原	大腸菌で発現したヒト RUNX3 (AA: 294-429) の精製された組み換え断片。

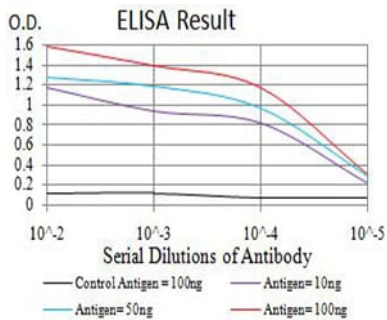
背景

この遺伝子は、ランドドメイン含有転写因子ファミリーの一員をコードしています。このタンパク質と β サブユニットのヘテロ二量体は複合体を形成し、多くのエンハンサーやプロモーターに存在するコア DNA 配列 5'-PYGPGGGT-3' に結合し、転写を活性化または

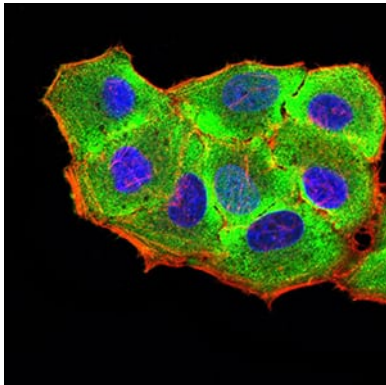
抑制することができます。また、他の転写因子とも相互作用します。腫瘍抑制因子として機能し、がんにおいてはこの遺伝子が頻繁に欠失または転写サイレンシングされます。選択的スプライシングによって、複数の転写バリエーションが生じます。

研究分野

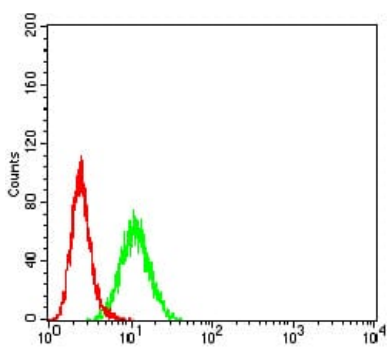
画像データ



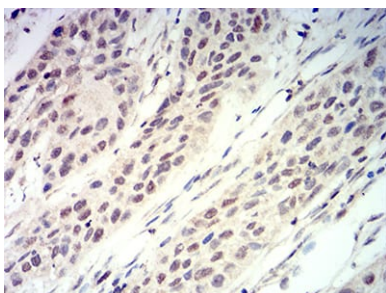
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



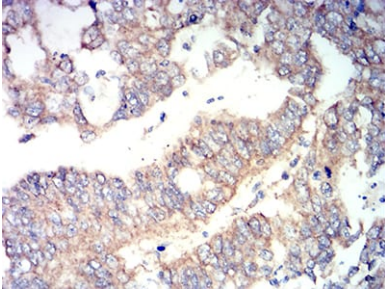
RUNX3 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



RUNX3 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



RUNX3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



RUNX3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。